



尋田さんのダンス動画はこちら

ダンスの魅力を伝えたい

ひろた いのり
尋田 祈さん(大府高校2年生)



7月にアメリカで開催された世界最高峰のダンスコンテスト「WORLD OF DANCE」。世界50都市で行われた予選を勝ち抜いた20チームが決勝に進出し、熱い戦いを繰り広げました。その大会で見事4位に入賞した「Ark」のメンバーの尋田祈さん。これまでに数々の世界大会に出場し、チャンピオンに輝いた経験もある尋田さんでも、レベルが高いと感じ、緊張したという大会。「優勝を目指していたので結果としては悔しかったけど、夢の舞台でこれまで頑張ってきた思いを全力でぶつけることができたので、貴重な経験になりました」と振り返ります。

尋田さんは、物心が付いたときにはアーティストのライブ映像を見て、そのダンスを見よう見まねで踊っていました。5歳の頃、「ダンスを習いたい」とダンスクラブに加入。そこでダンスの基礎を学び、ますますダンスにのめり込みます。小学6年生の頃、友達が所属する有名なダンススタジオの発表を見た尋田さんは、そのレベルの高さに衝撃を受け、「自分もあんな風に踊りたい」とすぐにそのスタジオに入ります。新たな環境で本格的にダンスを学び、めきめきと実力を付けた尋田さん

は中学生の頃、バンテリンドームナゴヤで開催されたシンガーソングライターのナオト・インティライミさんのコンサートにバックダンサーを務めます。「観客席から見ている大きな舞台に、踊る側で出演できたことがうれしかったです」と当時を思い出します。さらに、名古屋まつりで行われた東京ディズニーリゾート35周年のパレードにもダンサーとして出演するなど、中学生にして数々の貴重な経験を積み重ねます。

「ダンスは、人生を豊かにしてくれる大切な存在。ダンスを通して、いろいろな人とつながることができ、たくさんの友達ができました」と笑顔を見せる尋田さんは、ダンスの魅力を「自分の気持ちを自由に表現できる」ところと話します。今後については「インスタクターになって、自分が作るダンスをみんなに教えて、見ている人を笑顔にした」と目を輝かせます。世界の舞台で経験を積み、洗練された尋田さんのダンスから目が離せません。



▲大会後にArkのメンバーで記念撮影(写真奥左)

cover

10月9日、3年ぶりに横根藤井神社祭礼三番叟が開催されました。急きよ雨が降り、青空の中での披露目はかきませんでしたが、子どもたちは動揺することなく、中組・南組・石丸組の順に立派に演舞していました。

